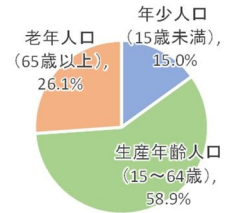


I

たわら 田原小学校区

ながめ なかしま さいこうじ はったんだ よした にしの いのくち きたの つじかわ たじり だいちん かしたに かめつぽ
長目、中島、西光寺、八反田、吉田、西野、井ノ口、北野、辻川、田尻、大門、加治谷、亀坪

世帯数	2,952 世帯	年齢別 人口	15歳未満 (年少人口)	15~64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)
人口	7,566 人		1,146 人	4,490 人	1,993 人



自然

- ・北部は、深山 (加西市・市川町) から南西へとひだ状にのびる尾根と、それらがつくる谷からなり、尾根の端部には、ふくさき三獅子山ふれあいの森 (妙徳山、大門宮山、辻川山) が位置します。
- ・中部から南部の東側には西光寺野台地が広がり、西側の市川へと河岸段丘が広がっています。

歴史文化

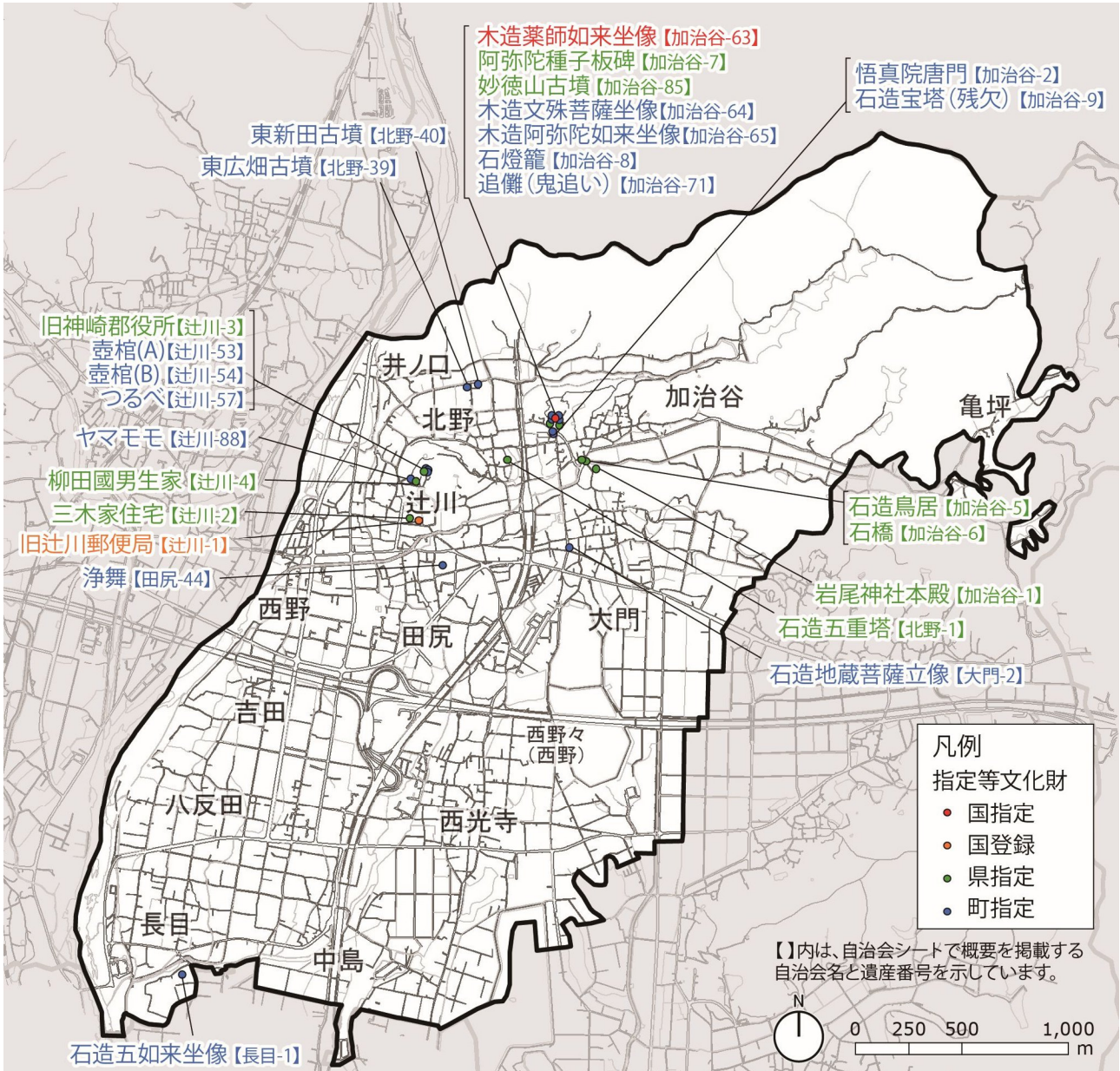
- ・桜上池東岸では旧石器時代のナイフ形石器、宝性院付近では小学生により縄文時代の有舌尖頭器が発見されています。この他、縄文時代の打製石斧や弥生時代のモミ跡が残る土器や甕棺が出土した宮山遺跡、弥生時代の磨製石剣や土製紡錘車、分銅形土製品などが出土し、環濠と思われる遺構が見つかった南田原長目遺跡など、数多くの特徴的な遺跡が見られます。
- ・古墳では、市川流域では最大級の横穴式石室をもつ妙徳山古墳をはじめ、東広畑古墳、東新田古墳などが残っています。これらはいずれも古墳時代の後期 (6世紀) に築造されたものとされます。
- ・古代律令制下では川辺里や多駝里、中世は田原荘に含まれ、南部には条里遺構 (南田原条里遺跡) が残るとされています。
- ・近世には、東西に北条街道、南北に但馬街道が通り、近代には生野鉱山 (朝来市) と飾磨津 (姫路市) を結ぶ生野鉱山寮馬車道 (銀の馬車道) が敷設され、それらが交差する辻川界隈は交通の結節点としてにぎわいました。
- ・辻川界隈は、多くの人々の往来による他地域との交流や大庄屋三木家の好学の風、そして近代の神崎郡の中心地としての発展をもとに、近世末から近代にかけて学問・芸術文化が盛んになり、柳田國男をはじめとした多くの偉人を輩出しました。
- ・近世から近代にかけて、多くのため池が築造されるとともに、ピワクビ疎水路や西光寺野疎水路が通されて、現在に続く広大な農地が拓かれました。
- ・昭和後期以降、辻川山には、旧神崎郡役所 (神崎郡歴史民俗資料館) や柳田國男生家、巖橋の移築・整備、柳田國男・松岡家記念館、学問成就の道、望郷の丘、河童像の整備等が進められ、付近のもちむぎの館、大庄屋三木家住宅、旧辻川郵便局等と一体となって、町の観光の中心的な役割を担っています。
- ・秋祭りでは、田尻区の熊野神社に12台の屋台が集結し、浄舞や浦安の舞などが奉納されます。
- ・播磨天台六山の一つである神積寺が位置し、国の重要文化財である木造薬師如来坐像などの仏像が安置されるとともに、追儺 (鬼追い) などの年中行事も受け継がれています。

指定等文化財の件数

分類	国				県		町	総数
	指定	選定	登録	選択	指定	登録	指定	
建造物	0		1		6	0	2	9
美術工芸品	1		0		1		8	10
無形文化財	0		0	0	0		0	0
有形の民俗文化財	0		0		1		0	1
無形の民俗文化財	0		0	0	0	0	2	2
遺跡 (史跡)	0		0		1		2	3
名勝地 (名勝)	0		0		0		0	0
動物・植物・地質鉱物 (天然記念物)	0		0		0		1	1
文化的景観		0						0
伝統的建造物群		0						0
総数	1	0	1	0	9	0	15	26

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、いずれも住民基本台帳による (外国人を除く)。

指定等文化財の分布



小学校の変遷

明治 6年2月	明德・知泉・金鷄・田原・柔遠の5小学校を設置(現田原校区)
9年1月	5校を合併して、昌文小学校を設置(田原全村)
11年9月	昌文小学校を2校に分離(東西田原と南田原)
25年6月	2校を合併して、全村を一区域とする
25年11月	田原小学校と改称、柔遠小学校旧校に南田原文教場を置き、2年生までを通学させる
32年10月	南田原文教場を南田原尋常小学校に改称
37年4月	田原小学校に高等科を置き、田原尋常高等小学校に改称
40年7月	田原尋常高等小学校と南田原尋常小学校が合併して田原尋常高等小学校となる
昭和 16年4月	田原国民学校に改称
22年4月	田原小学校に改称
31年5月	町村合併により、福崎町立田原小学校に改称

田原小学校 校歌

作詞：長谷川善雄、作曲：山田耕筰

校歌

1 青空高く 地は広く 熊野の森の 朝日かけ 少年のいき 天をつき 若きりそうは 高きかな われらが学びや おお田原校 われらが学びや おお田原校	2 はるかかなたを 指させば 市川の流れ 水清く 水に希望の かげうかび 少女の光 かがやけり われらが学びや おお田原校 われらが学びや おお田原校	3 わけ行く道は 遠けれど 文殊の人の 教えもて いざや進まん もろともに 開かぬせきの あるべきや われらが学びや おお田原校 われらが学びや おお田原校
---	---	--